

日本福祉のまちづくり学会全国大会 概要集執筆要領

—2011 年第 14 回堺大会用—

〇〇 太郎¹⁾ △△ 次郎²⁾ ×× 花子³⁾

この部分には、200 文字以内の和文による抄録を、本文と同じ文字の大きさと字体で記述する。また、キーワードは、ゴシック体（10 ポイント）、和文 6 語以内で記述する。なお、本学会は分野横断的な性格を有することから他の分野の参加者にも容易に理解、利用できるような配慮（たとえば、タイトルに副題を追加する）が必要である。発表申込、参加申込は本学会のホームページでおこない、原稿提出はメールにておこなう。

キーワード1、キーワード2、キーワード3、キーワード4、キーワード5、キーワード6

0. 概要集の意義

概要集は、発表者の報告内容を聴衆に正しく伝達するために準備するものである。口頭発表・ポスター発表のいずれも同じ体裁の概要を掲載する。情報保障を重視する本学会においては、概要集掲載用原稿とそのテキストファイルの提出を発表者に求める。また、概要は他の研究者にとっての参考文献としても未永く活用されるものである。なお、概要集は CD-R 版のみを作成する。

1. 論文の文章表現

研究論文、研究報告などは「である調」で書くのが一般的であることから、本説明文も「である調」で表現している。

2. ページ数と内容の構成

論文のページ数は CD-R 作成の都合から、1 演題につき、2 ページ、または 4 ページとする。論文は、タイトル（主題）、サブタイトル（副題：必要に応じて）、著者名、論文概要、キーワード、本論、参考文献等の順で構成される。このうちタイトル（主題）およびサブタイトルは、次の書式で記述すること。

- ・タイトル（主題）
ゴシック体、14 ポイント以上、中央寄せ
- ・サブタイトル（副題：必要に応じて）
ゴシック体、12 ポイント以上、中央寄せ
- ・著者
ゴシック体、12 ポイント以上、右寄せ

3. 本文の文字のスタイルと大きさ、配置

研究論文は A4 版仕上げで、活字は本文において、明朝体で概ね 10 ポイント程度とし、1 ページあたり 22 文字×44 行の 2 段組を標準とする。余白は上下左右共 25mm。ただし、ワードプロセッサの印刷機能により、厳密にこの書式がとれない時はできるだけそれに近い文字の大きさや文字数、行数とする。

4. 図表の文字のスタイルと大きさ等

図・表の中の文字はできるだけ 8 ポイント以上とする。図・表・写真のタイトルは日本語を基本とし、ゴシック体、9 ポイント以上を基本とする。図は「図 1」のように番号をふり、図の下側中央付近に配置する。表は「表 1」のように番号をふり、表の上側左部分に配置する。写真は「写真 1」のように番号をふり、写真の下側中央付近に配置する。図、表、写真等は原稿の適切な位置に貼り込む。ワードプロセッサの機能を活用することを推奨する。次ページ冒頭に、例を示す。

論文概要集は、CD-R のみとすることから、見る人の色覚の多様性を考慮し、印刷時の色飛びや印刷効果、カラー表示時等に配慮すること。事例として、福島県のカラー UD ガイドブックを示しておくので参照されたい。

(http://www.pref.fukushima.jp/kenmin/u_d/fud/fud_n001.html)

1) 会員：〇〇大学福祉のまちづくり学部

2) 会員：〇〇大学工学部土木工学科

3) 学生会員：〇〇大学福祉のまちづくり学部建築学科



図1 図タイトルの例

表1 表タイトルの例



写真1 写真タイトルの例

5. 本文の構成¹⁾と記述の方法

本文は、研究の目的、方法、結果（分析）、考察、まとめ（今後の展開）などの章と、これら章の内容を細分化して説明する項、節で構成される。

これら章、節、項の記述方法は、以下の様式とする。この様式は、視覚障害者がテキスト読み上げソフトを用いるときに、読み上げている場所や元に戻るときに必要な情報を含むものであるためである。なお、章の区切りは1行空行を挟むこととする。章と節、項の間は、空行を挟まない。書式を統一するのは、学会の論文集としての形式を整え、論文を読みやすくするための一つの手法である。また、本概要集は各種の補助デバイスを用いる方を前提とし、補助デバイスの使用を容易にするためにも書式の統一に協力をお願いする。

1. 章タイトル

ゴシック体太文字、本文と同文字サイズ、左寄せ

1-1 節タイトル

ゴシック体、本文と同文字サイズ、左寄せ

1-1-1 項タイトル

ゴシック体、本文と同文字サイズ、左寄せ

なお、内容でこれら分類ではなく項目番号等を付けたいときには、(1)のように括弧付き数字あるいはa、b、c、等を用い、容易に項目が分かるように配慮すること。

以下に、標準的な論文の章構成を示す。

(1) 研究目的（もしくは「はじめに」）

本文の導入となるもの、研究に関連した社会情勢や周辺領域に関する動向などを簡単にまとめる。他分野の人に、研究の位置づけを示すことも重要である。

(2) 研究（調査）方法

郵送調査やインタビュー調査では、対象、内容と時期、具体的な実施方法、実験等では、装置概要、実験方法、被験者と実施時期、実施場所等を記す。これらについては、図や表にした方が端的に表せるときは図・表にする。

(3) 研究（調査）結果

得られたデータや集計結果を書く。結果を表、もしくは図化したものの方が、限られたスペースで多くの情報をわかりやすく伝えることができる。

(4) 考察

結果を受けて、その内容を筆者なりに考えた内容を記す。

(5) おわりに（もしくは「今後の展開」「まとめ」等）

今後この研究をどのように展開していきたいのかなどをまとめる。

(6) 参考文献等

研究方法や論文の構成、その他、研究をすすめるにあたって参考とした文献や、文中での結果の比較や考察などのために引用されたものをいう。引用した文献は、引用箇所とページを明記する。いずれも、活字を本文より1ポイント程度落とすと良い。（この執筆要領の最後に例を掲載）

6. 提出要領、提出期限等

6-1 本原稿の提出

6-1-1 本原稿の提出方法

本原稿の提出は6-3に記載の提出先とし、原稿の再現性に優れたPDFファイルによる電子投稿とする。なお、紙面投稿を希望する場合、詳細を「問い合わせ先」に問い合わせること。

本原稿の提出は、発表論文の題目、発表者の氏名、所属、連絡先と、発表原稿のデータファイル（PDF化したもの）、および原稿から図表を除いたテキストファイルを添付すること。電子投稿（メールによる送信）の以下の注意事項に従い、提出期限までに提出すること。提出後、しばらくしても受付の返信がない場合は、「提出先」まで問い

合わせること。

6-1-2 電子投稿の注意事項

(1) 提出様式

PDFファイル (Adobe Acrobat Reader で表示、印刷可能なもの) で提出すること。作成した PDF ファイルは、執筆者の意図した通りに印刷されるかどうか確認すること。

(2) PDF ファイルサイズ

ファイルサイズは、500KB 以下とすること。PDF ファイルのサイズが 500KB を超えている場合は、張り込まれている写真等画像データの解像度を下げる (例: MS-Word の「図の圧縮」機能の活用) などの方法でファイルサイズを下げる。本件は、CD-R に格納する論文数にも影響するので可能な限りファイルサイズを小さくすることに協力をお願いする。

(3) 文字の色

文字の色は黒とする。文字以外の色使用の制限は特に設けないが、見る人の色覚の多様性を考慮し、印刷時の色飛びや印刷効果、カラー表示時等に配慮すること。

(4) 使用するフォント

フォントは、表 2 に示すものを原則とする。

これ以外のフォントを使用する場合は、PDF 作成時にフォントの埋め込みを行うこと。

表 2 使用可能なフォント一覧

OS	Windows	Mac (MS-Word)
日本語	MS 明朝／ゴシック MS P 明朝／ゴシック MS PR 明朝／ゴシック	MS 明朝／ゴシック MS P 明朝／ゴシック
英字	Arial、 Century、 Times New Roman	

(5) 原稿提出時のセキュリティの設定

PDF 化の際にはページ番号を挿入しないこと。また、PDF 化の際のセキュリティ設定、パスワードロックを行わないこと。

6-2 本原稿の提出期限

本原稿の提出はメール (ac055-jais@canpan.org) にて受け付ける。提出期限は 2011 年 6 月 4 日 (土) とする。

6-3 本原稿提出先

ACNet 事務局

「日本福祉のまちづくり学会」担当
住所: 〒105-0001 東京都港区虎ノ門 1-15-16
海洋船舶ビル 8 階 CANPAN センター内
E-mail: ac055-jais@canpan.org
(福まち学会専用)
TEL: 03-5251-3967 FAX: 03-3504-3909

7. 著作権の扱いについて

本大会の概要集の著作権の取り扱いは、以下のよう設定する。

- (1) 著者は、掲載された論文・質疑討論の著作権の使用を日本福祉のまちづくり学会に委託する。
- (2) 著者が自分の論文・質疑討論を自らの用途のために使用することについては、特に制限はない。
- (3) 編集出版権は日本福祉のまちづくり学会に帰属する。

8. 全国大会での発表形式

[口頭発表]

発表時間 10 分、質疑時間 5 分を標準的な発表時間としているが、投稿数によっては変更になる場合がある。発表はパワーポイントを使用しておこなうことを原則とする。データの持ち込みは、コンピュータウイルス対策の観点から CD-R によることを原則とする。また、OHC、OHP は準備しないので、注意すること。

[ポスター発表]

ポスター発表は、所定のボード (縦 200cm × 横 90cm 程度の予定) に研究内容などを印刷したものを掲示し、その前で聴衆の方に説明する発表形式。今回はコアタイムを設定し、その時間に発表者の方はポスターの前に立ち、聴衆の方は複数のポスターを見て回る形式で行う。様々な資料を示せるなど、交流を行えることと期待できる。(ポスターの作成要領は、ポスター発表者に別途案内する。)

なお、発表形式、使用可能機器等は本原稿受付後に個別に連絡する。

また、印刷された概要集を作成しないので、発

表会場の聴衆のために、口頭発表・ポスター発表を問わず、発表者は概要をA4版で50部印刷し発表当日に会場に持参すること。持参しない場合は実費で当日用意していただくことになる。

9. 問い合わせ先

質問等は、できるだけE-mail、ファックス又は、郵便を用いること。

【問い合わせ先】

日本福祉のまちづくり学会堺大会事務局

〒565-0871 吹田市山田丘 2-1

大阪大学大学院工学研究科地球総合工学専攻内

交通・地域計画学領域 担当：飯田・猪井

TEL：06-6879-7610 FAX：06-6879-7612

Email: sakai2011@civil.eng.osaka-u.ac.jp

参考／引用文献

1) 八藤後 猛：シリーズ 論文を投稿してみよう、
-その1～その4 論文の構成と内容-、福祉のまちづくり研究、第4巻・第2号～第6巻・第2号